

平成24年度大阪府立吹田東高等学校

第1回学校協議会

日時：平成24年7月9日（月）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

- ・委員 天津 謙二 吹田市立東山田小学校 校長
- 柏渕眞理子 地域教育協議会 東山田地区青少年指導員会地区委員長
- 城下 英行 関西大学 社会安全学部 助教
- 高木美由紀 本校 P T A会長
- 室 善博 吹田市立千里丘中学校 校長
- 校長 橋本 卓爾 吹田東高等学校 校長
- 事務局 今井 洋子 吹田東高等学校 教頭
- 野木 義弘 吹田東高等学校 事務長（欠席）
- 池田 隆宏 吹田東高等学校 首席
- 藪内 博樹 吹田東高等学校 首席

・座長選出 室氏

・議 事

◆報告事項

(1) 今年度の学校経営計画について

1、めざす学校像（平成23年度と同様）

2、中期的目標（3カ年計画）

- ・学力の伸び率・伸ばせ率のさらなる向上
- ・落ち着いた学校、安心して安全な学校づくり
- ・人材育成と広報活動の充実
- ・ICTを活用した公務の効率化

本校の生徒は教員の指示をよく聞くが、自ら行動する能力が不足している。生徒委員会活動を活性化していきたい。

(2) 進路状況について

4年制大学への進学が増えている。一般入試まで勉強を続ける生徒が増えている。今春の卒業生は7クラスで、昨年度より1クラス少なかったが、進学実績は余り変化がなかった。関西大学の合格者18名で、実人数は15名である。講習の成果が表れている。

(3) 新入生のアンケート結果について

第一志望率 64.8%。部活動の加入率が約85%である。希望進路については4年制大学が44%で未定が32%であった。未定が例年に比べて若干多い。中学時の通塾率は85%である。

(4) 今年度の取組みについて

①平成25年度入試について

普通科高校で入試を2回行う。前期は3教科と小論文、後期は5教科。

定員の80名を前期で選抜できる。男女比率の45%が撤廃。

②講習

従来通り、予備校による講習、本校の教員で行う講習を実施。1・2年の本校教員が行う補習では中間層の学力向上に向けて、英語では発展的な講習と基礎学力充実の講習の2本立てで行っている。国語について講習に参加できない生徒向けにプリントを配布し、教員が添削をして返却することも行っている。

③塾関係者対象説明会

他の公立学校でも数校行っている。本校の実態を知って頂く意味で行った。説明会を行った後、学校見学や授業見学も実施。アンケートの結果は好意的であった。来年度については内容・時期等を検討していく。

◆協議事項

『吹田東高校の魅力づくり』

平成24年度入学者選抜の動向と平成25年度に向けて吹田東の戦略

◇協議内容要旨

校長：旧1学区では定員割れをした学校もあったが、この地区ではなかった。私学は定員を満たない学校もあり、二極分化している。H25年度入学者選抜では入試制度が大きく変わるので、ご意見をいただきたい。

委員：中学生がどのような基準で高校を選択するかはこれからである。中学生は早く受験から解放されたい気持ちがあるので、前期入試にチャレンジする生徒が増えるかもしれない。しかし、前期入試に落ちると弱気になって、後期入試を受験せず、私学に進学する生徒もいるので、生徒の個性を見ながら考えていくことになるだろう。後期入試までどれだけの中学生が頑張れるか未知数。2年後導入予定の絶対評価についても悩んでいるところである。

委員：吹田東高校はよく頑張っているという評判だが、中学生の保護者は私学の方が手厚く指導してくれるという感覚がある。吹田東高校に入学した生徒の保護者は学校については満足している意見が多いが、中学生の保護者には吹田東高校の実態がまだ浸透していない印象を受ける。

委員：部活動は充実している状態はいいと思う。進学実績や講習について、それを売りにしてもっと外部に発信できたらと感じる。

委員：地域連携にもよく取りくんでいる。最近、真面目な生徒も多く、挨拶をするとよく返答してくれる。以前とは全く違う印象を受ける。

委員：パンフレットやホームページでクラブや大学進学実績を載せているが、文字では具体性が乏しい。進路実現した卒業生の1日の生活や1年間の生活などモデルとして載せると分かりやすい。私学では出身中学校ごとに先輩のメッセージ記載したパンフレットを配布している学校もある。